

研究紀要10号記念号発刊に寄せて

第10号の紀要発刊を迎えることになりました。これは了徳寺大学が開講して以来、11年目を迎えたことでもあります。了徳寺大学は健康科学部と芸術学部の2学部体制でスタートいたしましたが、現在健康科学部だけになりました。理学療法学科、整復医療・トレーナー学科、看護学科からなる3学科体制になり、純粋に医療系大学となりました。開校当初にみられる芸術学部教員からの投稿が姿を消したことはさびしい限りです。

医療の世界は休むことなく日進月歩のペースで進展がみられております。常に新しい医学的知識の増大や新たな技術開発の伴った診断機器の進歩はやむことがありません。このような医療世界の進歩に遅れないように、本学教員の不断の努力が求められます。したがって、教員の本学紀要へのより活発な投稿をお願いする次第であります。紀要は全国へ配布流布されますから、本学から全国へ向けての情報発信の大切な役目をもっております。本学の目的は高度医療専門人を社会に輩出することにあります。教員の地道な研究活動があってこそその目的は成就されます。幸いなことに投稿数は年を重ねるごとに着実に増え続けていることは頼もしいことであり、今後ますます投稿数が増え続けていくことを強く願っております。また、教養センターの諸先生方からの活発な投稿もお願い致します。

平成28年1月 吉日

了徳寺大学 学長
佐々木 宏